資料3

議題３　高齢者デジタルサポーターについて（岡崎市提出）

市名	回答		
	（１）高齢者のデジタルデバイド対策業務を担当する部署	（２）高齢者デジタルサポーター派遣事業をどのように進めていくか（候補者や派遣先の選定方法など）	（３）類似事業をすでに行っている場合（計画も含む）、実施部署と事業内容について
名古屋市	総務局行政部情報化推進課	類似事業を既に実施している部署等に情報提供し、利用可否も含めて今後検討。	実施部署：地域振興課 事業内容：地域活動の担い手を対象に、オンライン会議や電子回覧板などの講習会を開催し、地域活動へのICT導入を支援する。なお、ソフトバンク株式会社と連携し、総務省の「利用者向けデジタル活用支援推進事業」を活用。
豊橋市	総務部行政デジタル推進室	豊橋市シルバー人材センターや、情報企画部門を経験した市役所OBなどを活用しながら進めていきたいと考えています。	民間企業と連携して、総務省の「デジタル活用支援推進事業」を活用した高齢者向け講座の実施を検討しています。
岡崎市	業務主管課の業務遂行の中で個別に対応しているのが実情で、統一的に高齢者のデジタルデバイド対策を所管している部署はありません。	候補者の推薦については、高齢福祉部門や情報部門等関係部署と調整して対応していく予定です。 派遣先の選定についても、制度内容を鑑みて活用方法を検討していく予定です。	本市においては、類似する事業は実施しておらず、計画も現在のところありません。
一宮市	高年福祉課	候補者については、現在検討中。 サポーター育成・登録後は、高齢者の通いの場に派遣する予定。	通いの場運営者に対して、オンライン会議ツールの研修を実施。 また、携帯電話会社等地域貢献を希望する企業とのマッチングを実施。
瀬戸市	情報政策課	今デジタルリサーチパークセンターで試験的に行っているサポーター育成事業を優先しているため、県のデジタルサポーター派遣事業についてはまだ検討していない。	デジタルリサーチパークセンターの職員が公民館のスマホ講座に参画し、役員の方々のリテラシー向上を図り、講座を受けた役員の方々が地域の方々に教えることで自身のさらなるスキルアップを図るといった試みを実施。今後全市展開に向けてまちづくり協働課、高齢者福祉課との連携強化を図る。
半田市	企画課広報情報担当	候補者の選定については、市報での公募や学校OBの推薦などを検討している。 高齢者が集まる集会などに、出前講座という形で実施できないか、今後他部署とも協議を行っていく予定。	
春日井市	未定。	未定。	類似事業なし。
豊川市	当面の間は企画部情報システム課	生涯学習課や介護高齢課などと情報交換を行いながら進めていく予定です。	類似事業はありません。
津島市	総務デジタル課	未定	ケーブルテレビ業者が主体となり、市が連携事業者として、デジタル活用支援推進事業実施予定
碧南市	検討中です。詳細な情報が出次第決定します。	検討中です。詳細な情報が出次第決定します。	類似事業はありません。
刈谷市	未定です。情報システム課、長寿課、生涯学習課、市民協働課の中からいずれかの課になる予定です。	担当部署を決定後に検討を進めたいと思います。	
豊田市	経営戦略部　情報戦略課	【候補者の選定方法】 ・市内でパソコン講座等を行っている市民団体等へのアプローチした上で検討。 【派遣先の選定方針】 ・市内交流館等、高齢者が多く参加する市民団体が良く利用する施設へ相談の上実施。	【実施予定部署】 経営戦略部情報戦略課 【事業内容】 民間通信事業者と共同でパソコン・スマホ教室の実施を予定。
安城市	現在は、企画部経営情報課 対策内容によっては、福祉部との協議等必要になるかと考えています。	現時点では未定です。	実施していません。

議題３　高齢者デジタルサポーターについて（岡崎市提出）

市名	回答		
	（１）高齢者のデジタルデバイド対策業務を担当する部署	（２）高齢者デジタルサポーター派遣事業をどのように進めていくか（候補者や派遣先の選定方法など）	（３）類似事業をすでに行っている場合（計画も含む）、実施部署と事業内容について
西　尾　市	情報政策課(総括)、長寿課	【候補者】長寿課からデジタルサポーターの要件に当てはまる人の候補者を推薦してもらい、情報政策課が実際に会って事業の説明と面談を実施。適性と本人の意思を確認し、推薦する。 【派遣先】高齢者デジタルサポーターを講師とした教室の開催を長寿課及び包括支援センターと調整する。	【事業】高齢者スマホ教室 【主催】長寿課（地域包括支援センターに委託）・生涯学習課 【背景】R2年7月にソフトバンク(株)と「ICTを活用した地域社会発展に関する協定」を締結し、講師にソフトバンクショップの店員さんを派遣してもらい、開催している。 【実績】R2年度：8回開催、R3年度：20回程度開催予定
蒲　郡　市	情報担当部署（企画部デジタル行政推進課）	健康福祉部長寿課、教育委員会生涯学習課において、当事業についての情報共有を、連携して候補者を選定してく予定です。	長寿課が所管している蒲郡市老人クラブ連合会において、会員向けスマホ利用講習会過去に実施しています。また、高齢者向けというわけではありませんが、生涯学習課において、市民向けにスマホを使ったZoom操作講座や、スマホインスタグラム講座等のデジタル機器の使い方に関する講座を定期的に実施しています。
犬　山　市	未定	未定	文化スポーツ課 犬山市教育委員会とNPO法人が主催し開催しているICT講習会を、4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月の4期開催しており、スマートフォンをより多くの方に活用いただくための初心者向け講座なども開催しています。ほか、NPO法人へ委託運営したICT相談窓口を設けており、市役所や関連施設で週2～3回行っています。
常　滑　市	高齢介護課	検討中	なし
江　南　市	未定	担当部署未定のためまだ何も決まっていませんが、毎月第１土曜日から第４土曜日の午前中に、市内のボランティア団体が「パソコン・スマホ初心者相談会」を開催しているため、その団体に事業の案内を行い、意向を伺うことを検討しております。	（２）の「パソコン・初心者相談会」に加え、介護予防教室「ちいきのきょうしつ」のメニューとして、「暮らしに役立つスマートフォン講座」を開催し、高齢者のスマートフォンの利用に向けた支援を実施しております。 また、国の「利用者向けデジタル活用支援推進事業」について、民間事業者から提案を受けており、二次公募に申込済みです。
小　牧　市	市長公室行政改革課 ※高齢者に限定したデジタルデバイド対策業務を担当する部署は決まっていません。	具体的に事業の進め方を検討しているわけではないが、自治会を所管する部署や庁内の関係部署と調整した上で進めていく予定です。	デジタルデバイド対策として、移動体通信事業者と連携し、スマートフォンの使い方教室等を開催するよう準備を進めています。
稲　沢　市	高齢介護課もしくは生涯学習課の予定	未検討	生涯学習課と高齢者向けのスマートフォン教室の実施について協議を行っている。
新　城　市	担当部署は現在決まっておりません。	当市では現在類似事業の実施はなく担当部署も決まっておりません。関係業務を担当する部署で今後協議していくことを検討しております。	
東　海　市	高齢者に関するデジタルデバイドを担当する部署は明確ではないが、高齢者施策の一環として、例えば「スマホ教室」などをシニアクラブ等に紹介・働きかける等のイニシアチブをとっていく部署としては「市民福祉部高齢者支援課」がある。 一方、マイナポイントの取得支援等を通じて、「マイナポータルを通じたオンライン申請」など、普段、親しんでいない機能や使い方に対する不安感は世代共通であり、オンライン手続きの本格導入にあたっては、こうした手続きを支援する必要性を感じているところである。	類似事業が実施予定であることもあって、高齢者に限定した講座の実施は現在のところ予定していないが、今後、敬老の家・健康交流の家利用者やシニアクラブにおいてニーズが高まれば、実施に向けた具体的な検討を行う。	現在、市内の市民館・公民館において、高齢者を含む成人を対象として、スマートフォンを活用したマイナポータルの利用方法等を学ぶ講座が計画されている。

議題３　高齢者デジタルサポーターについて（岡崎市提出）

市名	回答		
	（１）高齢者のデジタルデバイド対策業務を担当する部署	（２）高齢者デジタルサポーター派遣事業をどのように進めていくか（候補者や派遣先の選定方法など）	（３）類似事業をすでに行っている場合（計画も含む）、実施部署と事業内容について
大　府　市	協働推進課	候補者については、市民活動センターでパソコン関係の講座を行っている団体に打診予定。 派遣先については、公民館等を予定。	
知　多　市	企画情報課、長寿課、市民協働課	パソコンを通じて各団体活動の支援を行っているボランティア団体などに声をかけ、候補者を選定する予定です。 派遣先の選定については、高齢者が集まる機会などに事業の周知を行い、派遣の希望を伺う予定です。	地元ケーブルテレビの会社が「利用者向けデジタル活用支援推進事業」の地域連携型の２次公募に申込みをすると伺っています。事業の支援は企画情報課、長寿課で行う予定です。
知　立　市	企画政策課DX推進係	積極的に活用していきたいと考えています。候補者の選定は広報での募集、区長会議を通じて候補者の推薦などを考えています。	R３年７月、長寿介護課で高齢者向けのスマホ講座を実施します。以後も単発で長寿介護部門で講座を行う可能性はありますが、それとは別にDX推進係では通年で出前講座メニューに「デジタルデバイドの解消講座」を追加し、スマホセミナーやマイナンバーカードの取得PR等について実施します。（R３年７月～）
尾 張 旭 市	情報政策課	地元のケーブルテレビ局と情報化推進に関する協定を結んでいることから、ケーブルテレビ局と相談して実施することを考えている。	
高　浜　市	企画部ＩＣＴ推進グループ	まちづくり協議会、シルバー人材センター等への推薦依頼を考えておりますが、全体的にはまだ検討中です。	実施していません。
岩　倉　市	主は高齢者福祉担当部門で行い、情報担当部門でサポートしていくことを想定している。	愛知県から今後示される具体的な内容を確認しつつ、検討していく。	行っていない。
豊　明　市	健康福祉部　健康長寿課　及び 行政経営部　情報システム課　（未調整）	具体的な検討等、実施していません。	類似事業なし。
日　進　市	健康福祉部地域福祉課	候補者の推薦：長年「お元気パソコン教室」を開催している市内のＮＰＯ法人や社会福祉協議会を通じてボランティア団体へ打診、派遣先の選定方法：老人クラブ等に派遣事業について紹介し、希望を伺うことが想定される。	・ＮＰＯ法人が「お元気パソコン教室」を行っており、現在はパソコンやスマートフォン・タブレットの講座を行っています。 （地域福祉課が事業協力（会場の先行要約、広報紙への掲載）している） ・持続可能なまちづくりと地域活性化に関する連携協定を締結しているソフトバンク株式会社により、単位老人クラブ会長向けにZOOM体験講座を開催
田　原　市	総務課（高齢福祉課との連携を想定）	候補者は、過去のパソコン教室講師や元職員で情報担当だった方に依頼予定。 派遣先は、高齢福祉課や社会福祉協議会と調整を行い選定予定。	なし。
愛　西　市	未定です。	未定です。	
清　須　市	健康福祉部高齢福祉課	候補者は、高齢者の関係団体から候補者を募る。 派遣先の選定は、市（福祉センター）で実施しているクラブ活動、各種介護予防教室等とし、デジタルサポーター事業を盛り込む。	
北名古屋市	企画情報課、高齢福祉課	現在調査・検討中です。	利用者向けデジタル活用支援推進事業（地域連携型）を民間企業と連携して予定しています。
弥　富　市	未定	未定	行っていません。
みよし市	デジタル化推進室と高齢福祉担当部署が連携して行っていくことを想定しています。	事業開始の段階は、現在も高齢者福祉に携わっている市役所OBを中心に候補者を選定していくことを想定しています。派遣先の選定は、候補者の選定状況、教育状況次第のため未定です。	生涯学習事業として、高齢者向けのスマートフォン講座の実施を行っています。
あ　ま　市	未定です。現時点では部署間での話し合いも行われていません。	未定です。	類似事業はありません。

議題３　高齢者デジタルサポーターについて（岡崎市提出）

市名	回答		
	（１）高齢者のデジタルデバイド対策業務を担当する部署	（２）高齢者デジタルサポーター派遣事業をどのように進めていくか（候補者や派遣先の選定方法など）	（３）類似事業をすでに行っている場合（計画も含む）、実施部署と事業内容について
長 久 手 市	長寿課・情報課（主幹課は未定）	未定	実施部署：長寿課 事業内容：高齢者ＩＣＴ利活用促進事業、Googleマップ講座、脳トレ講座